

## 新たな議会構成決まる

### ～選挙後 初の市会定例会より～

令和の時代が始まり、最初の市会定例会(会期5月7日～6月4日)が開かれ、横浜市会における新たな正副議長、各委員会の正副委員長や委員構成などが定例会初日の本会議で決まりました。

今年度私は、議会を効率的かつ円滑に進める市会運営委員会の委員長、市民・文化観光・消防委員会委員、郊外部再生・活性化特別委員会委員、自民党市会議員団副団長を務めることとなりました。

新たな立場から、引続き市政に関わる重要事項についてお伝えしてまいりますので、よろしく願い致します。

5月20日、市民・文化観光・消防委員会において、各局より主な事業の概要説明がありました。

#### 「市民局」 予算は450億3900万円。

- 自治会町内会をはじめとする様々な団体や組織が連携し、防災や高齢者の見守りといった課題解決に取り組む地域を区とともに支援します。
- 区役所が地域の総合行政機関としての役割を十分に発揮できるよう支援します。
- 地域のスポーツ活動支援や大型スポーツイベントを誘致して、市民がスポーツに親しむ環境づくりを進めます。
- 横浜文化体育館や本牧市民プールの再整備を進め、横浜武道館の2020年7月の供用開始を目指します。
- ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピック東京大会の開催準備を進めます。
- 市民利用施設(地区センター、スポーツセンター)に空調設備を設置します。
- 「広報よこはま」やインターネットを活用し、市内外に情報発信を行います。また、市民相談事業やコールセンターによる市民意見の的確な収集に努めます。

#### 「文化観光局」 予算は103億5100万円。

- シティプロモーション事業として、横浜の魅力を国内外に発信するとともに、一層のブランド力向上に努めます。
- 市民が様々な文化芸術を鑑賞、体験、発表できる機会の充実を図り、市内の文化芸術団体が行う活動を支援します。
- 横浜美術館やみなとみらいホール、能楽堂等の文化施設において、国内外から注目されるような展覧会、公演等を実施します。
- 市民参加・次世代育成・賑わいづくりを柱とした「横浜音まつり2019」を9月15日～11月15日まで開催し、横浜のまちを盛り上げます。
- 海外誘客事業として、特にクルーズ旅客等の市内回遊促進プログラムを展開し、国内誘客事業では、修学旅行など団体旅行を誘致するため、旅行会社に対し積極的にセールスを実施し、SNS等を活用して魅力ある観光資源を発信します。
- 国際会議等の市場規模が世界的に拡大する中、パシフィコ横浜の隣接地で新たなコンベンション施設(2020年春開業予定)とホテルを一体的に整備します。
- 芸術文化の力によって次世代を担う子供たちの表現力やコミュニケーション力を育成するため、学校にアーティストを派遣し、様々な体験ができる教育プログラムを実施します。